

最優秀賞

廿日市市 『はつかいち物語 愛の取調べ室』



■放映方法:テレビコマーシャル, シネアド, WEB 動画 ■担当課:経営政策課 ■連絡先:0829(30)9121

【作品のあらすじ】

取調室で向かい合う二人。取り調べ中、刑事がお昼ご飯に廿日市名物の「あなご飯」を出すと夢中であなご飯を平らげます。壁にはさりげなく廿日市をPRするポスターが。最後に被疑者は廿日市への隠し切れない愛を叫びます。

【担当者より（制作意図）】

本市は世界遺産のある宮島が知られていますが、宮島以外にも海や山など自然が豊かで、広島市と隣接しており、都市部へのアクセスも便利であることをアピールしたいと考え、本市の様々な魅力を伝える動画を作りました。

また、本市出身の応援大使の二人の隠せない「はつかいち愛」をアピールすることで、本市に暮らす市民が市の良さを再認識し、市への愛着を高めることを狙いとしています。

＝講 評＝

- ただ観光資源の魅力を打ち出すものではなく、取調室での様子を見ていると自然と出てくる観光PRという内容が斬新で面白い。
- 何のCMなんだろうと思わず見入ってしまう作りとなっていて引き込まれる。会話の中や小道具で上手に観光PRをしていると感じる。
- 刑事ドラマっぽい編集がなされているところにギャップの面白さを感じさせる。
- カメラワークなどは、通常の刑事ドラマを参照したものではあるが、効果的に作用していた。とりわけ壁のポスターなどで適時、廿日市市の魅力を伝えるように工夫されており、ただ刑事ドラマをなぞるだけではない効果が見られた。

優秀賞

呉市 『呉で輝く若者たち vol.47 中野仁貴さん』



■放映方法: You Tube, 呉市チャンネル ■担当課: 秘書広報課 ■連絡先: 0823(25)3224

【作品のあらすじ】

冬の呉の味覚と言えば、やっぱり牡蠣！全国でも有数の水揚げ量を誇る自慢の産業ですが、水産業に従事する人たちの高齢化も進んでいます。そんな中、東京で働いていた若者が家業の牡蠣屋を継ぐため帰ってきました。そのきっかけや、その作業現場での様子、そして頑張っていることなどをインタビュー。早朝の水揚げから販売に至るまで密着させてもらい、仕事や牡蠣に対する思いを聞きました。

【担当者より(制作意図)】

市広報紙の連載企画「呉で輝く若者たち」。呉で強く美しく頑張る若者たちの素顔をクローズアップ。毎月様々な分野で活躍する若者取材し、インタビューを通じてその素顔を紐解きます。また人生の先輩からのアドバイスなどから、「呉で起業したい！働きたい！」といった思いを持つ若者に対する応援的な要素も含んでいます。

＝講 評＝

- これだけの映像を自主制作しているというところに好感が持てる。インタビューの内容からも街に対する愛情や熱意を感じる。
- 事業継承の若者にターゲット。ドキュメントと分かりやすいインタビューが上手くマッチしている。
- インタビュー中、ずっと話す人を映すのではなく写真や映像を入れ込んでいるので、間延びすることなく見ることができた。
- 様々な角度からのカメラワークもあり、工夫が感じられる。
- 映像とシンプルな音響が清潔感を保っている。